

令和5年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 1

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。

令和5年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈知 育〉

○ 主体的に学び確かな学力を身に付けた児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	1 授業の充実 「授業プロセス」「ICT・タブレット」「表現力」「個別指導」 「全員参加の授業」「習熟を図る場面等の拡充」等	・ 研修を中心に全職員で授業の改善に取り組むことができた。 ・ タブレットについては、調べ学習、学び合い、授業の振り返りなど様々な場面で活用できた。	3.38	3.53	3.67	○ ICTの活用を図り、確かな学力を身に付けさせようと努力されている。 ○ 自分たちが学んだ時代と比べて、大きく変化しているが、子どもたちの一生懸命学ぶ姿は変わっておらず、安心した。
	2 家庭学習の充実 「精選」「タブレット持ち帰りによる宿題」等	・ 週末の原則宿題廃止により、週明けに教師も児童も落ち着いて授業に取り組むことができた。 ・ 今後は、自分で考えてやる家庭学習にどうつなげていくかが大切である。	3.29	3.35	3.67	○ 週末の宿題の廃止により、週明けに先生、児童が落ち着いて授業に取り組むことができています。 ○ タブレットの課題は、これからの時代に必要不可欠であるが、内容や家庭でのルールなど共通理解を図る必要がある。
	3 読書活動の充実 「家庭と連携した読書」「読み聞かせ」「新聞活用」等	・ 目標があることや学校図書館協力員及び図書委員の活動により、児童が積極的に読書活動を行えた。	3.21	3.62	3.67	○ 読書活動の取組に力を入れていることが分かり、年間図書貸出冊数100冊以上の児童が多くいることがすばらしい。「読書は心の糧」であるので、継続して欲しい。
	4 学力調査等の活用 「分析を生かした指導」 「過去出題問題の活用」 「情報量の多い問題の積極活用」等	・ 単元テストはほとんどの学級で目標値を達成できた。 ・ 個人差が大きく、低学力の児童をいかに引き上げていくかが今後の課題である。 ・ 全国学テやみや学テについては、過去問などに取り組ませたが、授業との関連を考えていく必要がある。	3.17		3.17	○ 先生方の指導のおかげで、テストなどで結果があらわれている。個人差が大きいとのことであるが、学校でもいろいろと対策を取られているようなので、今後も継続した指導をお願いしたい。

5 特別支援教育の充実 「個に応じた指導」「特別支援教育支援員等の有効活用」等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた指導が十分にできていないと感じている職員が多い。 ・ 特別支援教育支援員による支援は必要不可欠である。 	3.21	3.39	3.50	○ 様々な子どもたちがいるなかで、1人ひとりに応じた指導は難しいと思う。 ○ 特別支援教育の様子をその内容等を含め、もう少し参観したかった。
6 学習のしつけの徹底 「授業」「家庭学習」等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のきまりなど全職員で共通理解し、実践できているので指導しやすい。 ・ 鉛筆の握り方は、声かけはできたが、定着するまでに至っていない。 	2.62		3.17	○ 正しい鉛筆の握り方は、少しずつよくなっているが、定着させるのは難しい。はしの持ち方と同じく幼少の時から家庭での指導が大切である。
7 一部教科担任制等による指導の充実 「交換授業」「各種専科」等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な指導を受けることができ、児童も意欲的に学習に取り組むことができた。 ・ 専科の充実により、教材研究等も十分行うことができた。 	3.50		3.67	○ 専門的な指導を受けることにより、児童の意欲的な取り組みが見られる。
8 キャリア教育の充実 「小林キャリア教育センター」 「KSSVC」「地域人材・団体」 「学習支援ボランティア」の活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と連携することにより、豊かな体験活動を行うことができた。 ・ 学習支援ボランティアを効果的に活用できている。 	3.23	3.55	3.83	○ 地域と連携した行事や授業が本年度はとて多いと感じた。「仕事として」「特技として」「人として」子どもたちは豊かな体験ができている。キャリア教育の観点でも有効だと思う。

令和5年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 2

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。

令和5年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈徳 育〉

○ 思いやりの心を持ち、自ら実践する児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
徳 育	1 望ましい生活に関する指導の充実 「きまり」「生活習慣」「礼節」	・ 学校内でのあいさつ、会釈等とてもよくなっている。 ・ 清掃やボランティア活動など、高学年が手本となる場面が多く、学校全体によい影響を与えている。	3.14	3.49	3.67	○ 南小の子どもたちは、校内・校外でもよくあいさつをしてくれる。嬉しい限りである。先生方の指導の成果である。 ○ 学校へ行くと、あいさつをしてくれる子どもたちが昨年度より多く感じる。とても気持ちがよい。 ○ 地域では、大人があいさつをすることを遠慮しがちな風潮もあり、残念に思うこともあるが、子どもたちから元気なあいさつがもらえると、大人の方があいさつの大切さを考えさせられる。
	2 道徳教育・人権教育の充実 「道徳の授業」「情報モラル」「言語環境」	・ 学級で情報モラルに関わる事案が起きたが、個別指導だけでなく学級全体で考えたことで、児童のその後の指針を確認することができた。	3.00	3.47	3.33	○ 情報モラルに関わる事案が起きたときに、個別指導だけでなく、学校全体で対策を取っていることがよいと思う。
	3 問題行動等に関する指導の徹底	・ 全職員がアンテナをはって問題行動等に迅速に対応したり、1人で抱え込まずチームで連携したりすることで、いじめや不登校の解消ができています。	3.43	3.38	3.83	○ 不登校の児童に対する学校側の粘り強い対応に頭が下がる思いである。全職員で共通理解を図り、連携を取りながら保護者に寄り添う姿勢が解消につながったのではないかな。
	4 主体的な活動の推進 「清掃」「係活動」「委員会活動」「ボランティア活動」	・ それぞれの委員会で学校のために何ができるか考えて主体的に活動することができた。	3.23	3.62	3.33	○ 子どもたちの学校への思いを生かした活動を主体的にさせることで、学校への愛着も深まり、高学年としての自覚を高めることができています。

令和5年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階	4：期待以上	3：ほぼ期待どおり	2：やや期待を下回る	1：改善を要する
------	--------	-----------	------------	----------

NO. 3

学校経営 ビジョン	<p>○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。</p> <p>令和5年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』</p>
--------------	---

〈体 育〉	○ 健康や体力に関心をもち、自ら行動する児童の育成
-------	---------------------------

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
体 育	<p>1 体力・運動能力の向上 「体育の授業」「課題解決のための取組」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の授業や体力を高める活動を計画的に実施したことにより、児童の体力が向上し、宮崎県体力づくり優良校にも選出された。 ・ 昼休みの時間に外遊びをする児童が多い。 	3.31	3.59	4.00	<p>○ 体力テストで県優良校に選出され表彰されたことはすばらしい。一層の体力向上を望む。</p> <p>○ 昔は、家に帰ってから空き地等も多くあり、外で遊ぶ機会も多くあったが、今はなかなか難しくなっている。ただ、昔の遊びの中には、体力や運動能力を向上させるものも多くあり、外で遊ぶ機会を多くつくる必要がある。</p>
	<p>2 姿勢等の指導の徹底 「立腰」「集団行動」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立腰については、機会を捉えて声かけ指導を行っているが、徹底しているとはいえない。継続的な指導が必要である。 	2.77	3.66	3.00	<p>○ 立腰については、よい姿勢を維持することがなかなか困難なようである。継続的な指導をお願いしたい。</p> <p>○ 運動会での1年生から6年生までのきれいな整列と行進等素晴らしかった。特に6年生のリーダーシップは素晴らしかった。</p>
	<p>3 家庭と連携した健康教育の推進 「疾病治療」「感染症対策」「フッ化物洗口」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ むし歯の治療率については、養護教諭や学級担任も計画的に呼びかけをしているが、保護者の意識等もあり100%の達成はできなかった。 	3.14	3.58	3.33	<p>○ 手洗い、マスク、教室の換気など、しっかりと感染症対策がなされている。</p> <p>○ むし歯の治療等は保護者の協力が不可欠である。参観日等での呼びかけも継続的に行っていく必要がある。</p>

令和5年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 4

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切に、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。
令和5年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈食育〉

○ 食に関心をもち、自ら実践する児童の育成

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	保護者評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
食育	1 食に関する指導の推進 「食から始める健康『元気なみやざきっ子』食育推進事業」	・ 「弁当の日」ドキュメンタリー映画の上映会では、保護者や地域の方の参観もあり、食に関する意識の啓発に効果があった。来年度は、「弁当の日」の取組について、より一層充実したものにしていきたい。	3.29	3.64	3.67	○ 「弁当の日」ドキュメンタリー映画は、とても素晴らしかった。90分間があったという間であった。企画した学校やPTAに感謝したい。 ○ 「弁当の日」を切り口に考えていこうとする取組がよい。社会に出てからは人間力がどのようなよう育っているかが大切である。
	2 給食の時間の指導の充実 「準備から片付けまで」「偏食」「マナー」「残食」	・ 食に感謝する視点から指導したことで、残食は0に近い結果だったが、時間内に食べることや食器をもつことなどのマナー指導が今後の課題である。	3.07	3.59	3.33	○ 給食の残食はとてもよい結果であるが、食事のマナーが気になる。家庭でも、はしの持ち方、感謝する気持ちもしっかり教えることが大切である。
	3 個別の相談指導の充実 「肥満傾向」等	・ 家庭との連携が難しい部分もあるが、学校では、肥満傾向の児童等に、外遊びを推奨したり、バランスよい食事を心がけるよう指導したり啓発を行った。また、希望者とその保護者は、専門機関につなぎ、面談を受けさせた。	3.00	3.72	3.67	○ 先生方の努力でアレルギー児童への適切な対応ができています。 ○ 対応は大変なところがあると思うが、全職員で適切な対応ができていたことがすばらしい。
	4 食物アレルギーを有する児童への適切かつ確実な対応 「体制の確立」「対応の徹底」	・ 修学旅行でも組織的な対応ができた。研修等の成果で、全職員の理解とサポート体制が整っている。	3.79		3.83	○ アレルギー児童に対して、全職員で適切な対応ができていますので、保護者も安心していると思う。

令和5年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 5

学校経営ビジョン ○ 南小学校の伝統を大切に、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。
令和5年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈その他〉 ○ 服務規律の徹底と子どものための働き方改革の推進

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	保護者評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
その他	1 服務規律の徹底	・ 全職員のコンプライアンス意識が高く、服務規律の徹底が図られている。	3.71		3.67	○ 教員を志望する人が少ないなか、先生方の真摯な取組に感謝したい。先生方の素晴らしさをもっとアピールしていきたい。
	2 働き方改革の推進	・ 様々な業務改善を行うことで、時間外勤務の削減が図られている。特に、学習支援ボランティアの効果が大きく、子どもに向き合う時間の確保ができています。	3.36		3.33	○ 働き方改革では、様々な業務改善、特に学習支援ボランティアにより先生方は時間に余裕ができ、児童に対して心にとりができたとのことであれしく思う。
	3 学校運営協議会の在り方の改善	・ 地域の方に学校経営に参画してもらうことができ、地域の方は学校を職員は地域をより身近に感じてもらうことができた。	3.50		3.67	○ 月1回の学校運営企画会は、学校のことをより詳しく知ることができ、これまで以上に学校に多く、深く知り、関わるすることができた。

次年度の方角性についての校長所見	<p>1 本年度の取組について 本年度は、新型コロナも5類に移行され、これまでの取組とコロナ禍における取組のよさを融合させながら学校運営を行った。保護者や地域の方々の理解・協力をいただき、学校行事や教育活動に取り組み、「知」「徳」「体」「食」において成果を残すことができた。 特に本年度は、地域との連携や働き方改革に力を入れた。地域との連携では、学校運営企画会を月1回実施することにより、学校をより身近に感じてもらうことができた。また、学習活動などにおいて地域の方との連携も図りやすくなった。働き方改革については、「週末宿題の原則廃止」や「学習支援ボランティア」を充実させたことで職員が子どもと向き合う時間が確保でき時間外勤務の時間も減少した。</p> <p>2 次年度への改善に向けて 次年度は、本年度の評価をもとに、保護者、地域と連携を図りながら教育効果を上げる取組さらにを進めていきたい。また、地域との連携、働き方改革については、より一層充実できるように改善等を図っていきたい。</p>
------------------	--